

## 色のいろー日本画色彩案内

会 期 2003年8月30日(土)～10月19日(日)

古くから日本絵画に多く用いられてきた“岩絵具”は、原料となる鉱物や岩石等を粉碎して作られる細かい粒子状の絵具です。日本画は、この粒子状の岩絵具を接着剤となる膠の水溶液と混ぜあわせ、筆や刷毛などを用い紙や絹の画面上に定着させて描かれます。もともと天然に得られる色の数は決して多くはありません、しかし、同じ原石であってもそれぞれの産出地や自然環境によってその色彩は微妙に異なり、また、同一の原石から作られた絵具でも粒子の大きさによって明るさや色あいが異なるため、色のバリエーションは豊富です。

本展覧会では、日本画の色彩に焦点をあて、藍銅鉱（群青）や孔雀石（緑青）など、華やかな色彩を生み出す鉱物の原石や、岩絵具に関する資料とともに、作品のなかの色について紹介します。色彩は、絵柄や構図とともに絵画における重要な要素のひとつです。ある特定の色を基調とした作品や、色が画面構成上のポイントとなっている作品を見ながら、ほどこされた色彩の重要性を見ていただきたいと思います。今回は、参考出品として高崎市内の遺跡から出土した彩色土器等、色の意味を考えるうえで興味深い古代の器や装飾品も展示します。

本展覧会によって、岩絵具や作品の色彩表現など、日本画の色について知る機会となれば幸いです。

会 場 高崎市タワー美術館（370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773）

時 間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

金曜日のみ午前10時～午後8時（入館は午後7時30分まで）

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日を休館）、祝日の翌日

会期中の休館日：6/30、7/7・14・22・28、8/4・11

観 覧 料 一般：500円（400円）、大高生：300円（250円）、中小生：200円（150円）

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります
- 市内に居住する小中学生については、毎週土曜日は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

企画協力 山種グループ

### 関連事業

- ギャラリートーク 8/30、9/13、9/27、10/11 14:00～